



第13回 G X 実行会議

令和6年10月31日

中部電力株式会社
代表取締役会長
勝野 哲

我が国のGXの加速に向けて（1）

- ◆ GXは、化石エネルギーからクリーンエネルギーへの転換を核として、長期に亘り、暮らしから経済・社会・産業構造全体の変革を目指すものであり、GXとDXを同時進行させ、産業競争力強化と経済成長につなげる我が国の新たな成長戦略。
- ◆ これらの分野における投資拡大は、地域経済への波及効果、国民の生活水準や生活環境の向上、エネルギー自給率の向上（安全保障の確保）に資するものであり、自国の競争力を強化する観点でも、危機感とスピード感を持って進めていくことが必要。
- ◆ これまで本会議を通じて、GX実現に向けた基本方針のとりまとめ、GX経済移行債の発行、成長志向型カーボンプライシングの導入決定、AZEC（アジアゼロエミッション共同体）構想の具体化など、我が国のGXに向けた動きは大きく前進。

我が国のGXの加速に向けて（２）

- ◆ 今後、次期エネルギー基本計画、次期NDC（温室効果ガスの排出削減目標）、地球温暖化対策計画が取りまとめられ、GX2040ビジョンとして将来のエネルギー・GX戦略が明確化される予定だが、国際情勢や需要・経済動向、技術革新の進捗などさまざまな不確定要素も考慮しつつ、**政策の一貫性・継続性を確保**しながら、**具体的な制度設計と実行（国内投資等）を加速**させていくことが重要。
- ◆ 特に、足元では、GXやDXを背景に、電化の推進やデータセンター・AI需要の拡大等により電力需要が増加する可能性が急速に高まっており、脱炭素分野における投資を拡大していくためには、**安定したクリーンエネルギーの確保・拡大**は、**我が国の将来像を左右**する待ったなしの課題。
- ◆ その際、**再エネや原子力に加えてLNG火力などを組み合わせたベストミックス（S+3E）を追求**しつつ、**現実的なトランジションが重要**。

我が国のGXの加速に向けて（3）

- ◆ エネルギー基本計画の議論のポイントにあるように、
 - 将来必要となる脱炭素電源や系統設備への投資に対する事業環境整備
 - 小売電気事業者が供給責任をしっかりと果たすために供給力確保を促すこと

が、発送電分離という電力システムの中で安定供給メカニズムを確保するために非常に重要。
- ◆ カーボンプライシングなどのコスト負担については、GXに伴う社会全体のコストを最適化していく中で、エネルギー間の公平性・中立性の確保や受益と負担のバランスが重要。
- ◆ GX推進に向けては相応のコスト負担が避けられないが、これは経済と環境の好循環を生み出し、持続可能な未来社会を実現するための先行投資。GXは、電化を推進し、DXを加速させ、新たな価値やサービスを創出し、国民に「安心」「安全」「豊かで」「多様な」暮らしをもたらすための社会変容の取組み。こうした認識が、GX2040ビジョンを通じて、より多くの人々に共有されることを期待。